

## 1 結果

表 1 にセルカウントの結果を、表 2 にセルカウントの結果から算出した懸濁液内の細胞数の結果を示す。  
また、図 1 に培養時間と細胞数の関係を示す。

表 1: セルカウントの結果

	day1 (cells)	day2 (cells)	day3 (cells)
dish 1	16	19	63
dish 2	2	33	93
dish 3	10	22	83
平均	9.33	24.7	79.7

表 2: 懸濁液内の細胞数の結果

	day1 (cells)	day2 (cells)	day3 (cells)
dish 1	80000	95000	315000
dish 2	10000	165000	465000
dish 3	50000	110000	415000
平均	46667	123333	398333

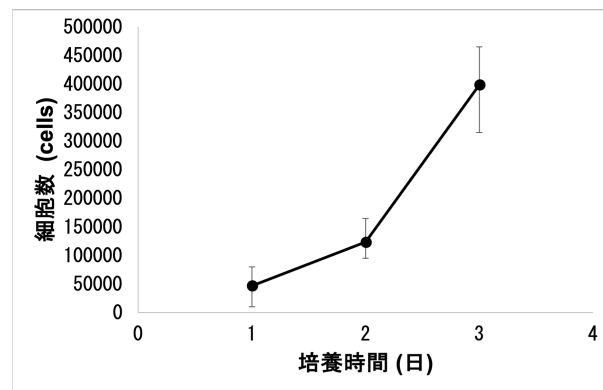


図 1: 培養時間と細胞数の関係

## 2 考察

図 1 から、細胞数が day1 から day3 の間で指数対数的に増加していることが読み取れる。したがって、培養開始から 1~3 日目の間は C2C12 細胞の対数増殖期に当たることが言える。定常期や死滅期を確認するためには、培養開始から数日以上経過した後の細胞数を測定する必要がある。

表 1 から、セルカウントの結果は dish ごとにばらつきがあることが読み取れる。特に、day1 と day2 ではカウントされた細胞数が少なく、相対的なばらつきが大きくなっている。これは懸濁液に加えた DMTM が多く、懸濁液の濃度が低くなったことによるものだと考えられる。誤差をさらに小さくするために、適切な DMTM の量を加えることが重要だと言える。また、day1 の dish2 ではセルカウントの結果が特に少なくなっている。これは上澄を除去する際に細胞も一部除去されたためだと考えられる。したがって、上澄を除去する際には細胞も一部除去されないように注意する必要がある。